

平成26年度 くまもと・わくわく基金 助成申請団体一覧

【保健、医療又は福祉の増進を図る活動】

助成金予定額 50万円

No.	団体名	事業名	事業概要	申請金額 (円)
H-1	NPO法人 熊本わくわく 体操ボランティア協会	わくわく体操を実施して 地域の健康づくり・活性化を 図る事業	地域の公民館や、コミュニティーセンターで、地域の自治会・老人会・女性の会の 方々に呼びかけ、独住老人や、ひきこもりがちの方々に集まっていただき、わくわく 体操を体験していただきます。	200,000
H-2	くまもと歯っぴーかむカム ひごまる協議会	高齢者にもベロタッチ ～口腔機能を維持して誤嚥と 認知機能の低下を防ぐ～	乳幼児に対する口腔機能発達支援として、ベロタッチの普及を進めたところ、高齢者 の口腔機能低下防止にも効果がある可能性が高まりました。また、舌の機能を維持 し、発語や嚥下機能の低下を防止することは、認知症の防止にも有効ではないかとい う声を受けて、高齢者や、高齢者施設等に配布できる冊子の作成と研修事業を行い、 普及啓発を図ります。	190,000
H-4	NPO法人 成年後見 安心サポートネット熊本	成年後見無料相談事業 ならびに広報啓発事業	高齢者・障がい者の福祉の向上を図る活動を通じて地域社会に貢献し、判断能力が不 十分となった高齢者や、障がい者の方々の生活を守り、人権を擁護することを目的と した成年後見制度の普及促進。具体的には、成年後見無料相談会及び成年後見制度説 明会を開催するとともに、この無料相談会の宣伝広報活動も実施します。	200,000
H-5	妊娠・出産・子育て情報 ネットワーク うみ・つき	心と体の癒し方・治し方講座	これまで、妊娠・出産・子育て期におけるセルフケアを勧める講座を行ってきまし たが、平成26年度は、母親をケアする立場にある方、人と関わる仕事をする方、未 来を担う子どもと関わる方たちに贈る“心と体の癒し方・治し方講座”を開講しま す。海外での経験も豊富な専門家を講師に迎え、心や体の根治療法や体を整え、心を 元気にする手法を学ぶことは、助産ケア・患者ケア、保護者対応、クライアントサ ポートなどの実践に役立ちます。心と体を癒すスペシャリストになるための一年をブ ログラムします。	250,000
H-6	with women	産後リハビリテーション概念 普及による 生活の質 (QOL) 向上への取り組み	産前からすべての女性において鍵となる骨盤底筋群のケアやトレーニングを毎回楽し く、解りやすく伝えます。乳幼児同伴で気軽に参加できる環境を整えることで、産後 間もない女性の集客を図るとともに、更なる参加者層への訴えも行います。一産後 という捉え方のもと、更年期を迎える40代女性へも重点をおき、女性が過ごしやす い生活環境を整えます。	100,000
H-8	傾聴ボランティアくまもと	傾聴ボランティア養成講座	どの世代でも、コミュニケーション能力とコミュニケーション自体の不足が叫ばれ、 人間関係の希薄化や近所付き合いの途絶が懸念され、痛ましいニュースも後を絶ちま せん。そんな中で、本講座は、日本における傾聴の第一人者である鈴木絹英先生を熊 本にお迎えし、人が、より幸せな気持ちで毎日を過ごす事のできるコミュニケーション の知恵を学びます。引きこもりや不登校、こじれた親子関係が、劇的に改善したお 話など、先生の豊富な実践経験と、やさしくて力強いメッセージは、必ず温かい思い やりの輪を熊本に広げる事につながります。	107,000

【環境の保全を図る活動】

助成枠 25万円

No.	団体名	事業名	事業概要	申請金額 (円)
K-1	特定非営利活動法人 九州環境サポートセンター	市民環境活動団体の 活動活性化推進事業	熊本市内の市民環境活動団体等は、「人」「もの」「資金」「情報」「ノウハウ」「専門性」「広域連携」等が不足しているため、その活動が伸び悩んでいると考えられます。そこで、九州各県で、団体を立ち上げ、課題・問題点を克服しながら活動している団体から直接、活動成功事例や活動状況について情報交換ができる「学び場」と、九州各地の団体と熊本の環境団体や一般市民、企業・行政との「交流の場」を提供し、熊本から九州各地へ環境情報発信を行い、各市民環境活動団体のレベル向上を図ります。	250,000
K-2	NPO法人 しらさぎ	熊本城石垣除草・ 清掃ボランティア活動	武者返しで有名な熊本城の石垣除草には、安全帯を体に巻き付けての高所作業者の助勢は欠かせませんが、一般参加者ができる高所作業から掃い取られた草木や葛の掻き集めや、地上より届く箇所での石垣除草や城内清掃者など混成チームでの収集作業の成果として、毎年大型のビニール袋に80袋(400kg)程度にもなります。今年度も、前年度に引き続き一般市民の皆さんや職場、学校等広範囲にお知らせとご案内を行い、本事業が市民参加の年中行事として継続できるような内容に持っていくことが最大のテーマです。	207,000

No.	団体名	事業名	事業概要	申請金額 (円)
S-1	特定非営利活動法人 子ども夢工房	親子でつくる 「親守詩(おやもりうた)教室」 と日本の伝統文化にふれる 「子ども百人一首教室」	親守詩(おやもりうた)というのは、親(祖父母)と子どもでつくった短歌です。上の句の五七五の部分子どもがつくり、下の句の七七の部分親(祖父母)がつくるものです。「親守詩(おやもりうた)」をつくり、子から親へ、親から子へメッセージを送り合うことで、親子の絆を深める取り組みとなります。今年度は、「親守詩熊本県大会」だけではなく、「親守詩教室」や、日本の伝統文化である「百人一首教室」も併せて実施します。	180,000
S-3	特定非営利活動法人 熊本子ども囲碁普及会	児童クラブにおける 囲碁普及モデル事業	囲碁は、子どもの健全育成に極めて有効な手段であると確信しています。集中力が身につく、創造力を育み、発想が豊かになる知的な頭脳ゲームです。当NPO法人で、碁盤教材を用意し、児童クラブに囲碁の指導員を派遣し、希望者を対象に囲碁を教えます。	300,000
S-4	NPO法人 熊本どんぐり	生活困窮状態にある人を 支援する事業	刑務所を出所した場合など前科がある人は、自他共に社会的不利を背負っています。そのために、生活困窮状態に陥りやすいと言えるでしょう。当法人は、そのような人を一市民としての生活を営むことができるよう支援し、再犯防止を目指します。また、生活困窮状態は、世代間に連鎖する傾向が認められるので、週2回、貧困家庭の児童へ学習支援を行い、貧困の連鎖防止に努めます。	100,000

No.	団体名	事業名	事業概要	申請金額 (円)
B-1	特定非営利活動法人 武田流流鏑馬保存会	伝統文化の保存及び振興・子ども の健全育成を図る推進事業	武道としての流鏑馬を、熊本県重要無形文化財である郷土の文化遺産として、後世に継承するため、一般公募した少年・少女を対象に「やぶさめ少年塾」を実施します。この「やぶさめ少年塾」は、今年度で8期生となりますが、なかなか、塾生数が増えないので、より多くの方に周知をしていきます。	100,000

【まちづくりや地域安全の推進を図る活動】

助成金予定額 100万円（一部 コスギスマイル基金）

No.	団体名	事業名	事業概要	申請金額 (円)
M-1	NPO法人 安心運転支援センター	高齢者・障がい者の生活支援、就業支援事業	玉名市の技術者により開発されたワンペダルは、ブレーキとアクセルが一体となっており、踏み間違いの起きないペダルです。また、踏み替え動作が不要でブレーキが早く効きます。なお、通常車では、運転が困難な加齢や病気、けがにより、足の動きが制限される方でも運転できる可能性があります。こういった方々に、楽で安全に移動できる手段と、自立して生活できる環境を手に入れて欲しい、との思いから講演会や試乗会などを開催し、安心安全なワンペダルの様々な情報を発信していきます。	200,000
M-2	NPO法人 龍田共育ネットワーク	自治協議会とNPOが協働する校区コミュニティカレンダーでまちづくり推進	龍田校区では、平成21年から3年間コミュニティカレンダーを作成し、各町内自治会を通して各家庭に配布し、活用されていましたが、編集作業の人手や印刷費などの予算面から、発行中止となりました。そこで今回、地域の子供たちの健全育成を柱に活動続けてきたNPO法人龍田共育ネットワークが、各種調整会議の進行、編集、作成などの実務を担当し、継続して発行できる体制を確立します。安心安全なまちづくりを進めるためにも、情報を共有し、新しい地域住民も、様々な行事や活動に参加しやすい環境整備を進めていきます。	450,000
M-3	白山校区社会福祉協議会	「つながろう白山 みんなで元気」健康まちづくりへの取り組み	白山小PTAが、毎年単独で開催していた「白山小祭り」にタイアップして、今年度は、一般住民の方々を対象にイベントを開催します。校庭では、各団体で工夫した健康ブースのテントを作るほか、健康寿命をのばすための、15分歩いてみようゲーム他、体育指導員の指導で取り組みやすい運動などを皆で行っていきます。また、学校保健委員会児童の研究発表会を地域の方々に聞いていただくなど、一緒に楽しみながら協力して「健康づくり」をしようという気運を盛り上げるイベントを企画しました。	110,000
M-4	NPO法人 日本防災士会・熊本県支部	地域市民とNPOとのコラボDE安全安心なまちづくりの巡回出前講座	日本防災士会・熊本県支部は、防災士の有志で構成するネットワークであり、地域市民に密着した“自助”“共助”“公助”を活動指針とし、各種災害時に、いち早く現地へ赴き、災害支援・被災地支援及び復興支援活動を行います。また、市内各地に出張して、DIG（災害図上訓練）やHUG（避難所運営ゲーム）の巡回出前講座を開催し、幅広い防災啓発活動を通じて、団体、企業、自治体や自主防災クラブ又は町内会と密に連携し、地域の安全安心の実現に努め、地域防災力の向上を図ります。	220,000

※「くまもと・わくわく基金」の中に 株式会社 コスギ不動産 様 からのご寄附を基に、「コスギスマイル基金」を設置しております。
平成26年度は、ご希望により「まちづくりや地域安全」の分野で助成を行います。